

講義名	グローバル経営基礎			
科目区分	学部専門基礎			
担当教員	今西 珠美			
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 4時限	授業形態		
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース/2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース/2019年度 人間社会学部 人間健康学科/2019年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース/2019年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース/2019年度 人間社会学部 観光学科/			
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

主題と概要
<p>主題：企業の国際的な経営活動に焦点を当てるグローバル経営という学問分野に関わる基礎知識と主要理論、研究領域について理解します。</p> <p>概要：前半（1～10回）は主にグローバル経営に関わる基礎知識と主要理論を時代背景を踏まえながら捉え、後半（11～15回）はグローバル経営を実践する上で直面する諸相を知ることによってグローバル経営が内包する専門領域を捉えていきます。</p>

到達目標
<p>グローバル経営に関する基礎知識とその研究領域について広く理解しましょう。</p>

提出課題
<p>課題を提示します。</p>

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
<p>授業時に講評します。</p>

評価の基準
<p>学習成果を評価します。出欠はとりません。 提出課題（85%）、授業態度など（15%）を予定しています。 代替授業（遠隔授業）期間が長期化すれば授業態度は0%になるかもしれません。</p>

履修にあたっての注意・助言他
<p>①教科書に沿って授業を進めますので教科書は必ず持参してください。 ②受講態度は成績評価に影響します。例えば、授業中のスマートフォン、音楽プレーヤー、ゲーム機等の使用、私語や睡眠の継続といった行為は、たとえ教員が直接注意をしなかったとしても単位修得に大きく影響します。程度によっては「評価の基準」に示す比率以上に減点する場合がありますので十分注意してください。</p>

教科書
<p>『コア・テキスト 国際経営』、大木清弘 新世社 2,750円 978-4-88384-266-7</p>

プリント資料及び参考文献
<p>参考文献 『グローバル経営入門』日本経済新聞社、2003年。 中川カエ・林正・多田和美・大木清弘『はじめての国際経営』有斐閣（有斐閣ストゥディア）、2015年。 安室審一監修、古沢昌之・山口隆英編『安室審一の国際ビジネス入門』白桃書房、2019年。 吉原英樹『国際経営論（第4版）』有斐閣（有斐閣アルマ）、2015年。</p>

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 国際経営の基礎知識 多国籍企業の歴史 海外直接投資論 プロダクト・サイクル仮説と優位性の移転 多国籍企業の組織デザイン トランスナショナル型組織 国際的な活動の配置と調整 海外子会社論 グローバル・イノベーション論 国際パートナーシップ 国際マーケティング 国際生産 国際研究開発 国際的なサプライチェーン・マネジメント：調達と製販統合 国際人的資源管理

--

授業形態（アクティブ・ラーニング）
<p>ア：PBL（課題解決型学習）</p> <p>イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）</p> <p>ウ：ディスカッション、ディベート</p> <p>エ：グループワーク</p> <p>オ：プレゼンテーション</p> <p>カ：実習、フィールドワーク</p>

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
<p>①授業の予習（約120分） 必ず教科書の該当章を読んで授業に臨んでください。事前に読む章の番号は授業回数と同じです。 [予習する教科書の章番号] = [授業の回数] という事です。 例えば、第3回目に向けた予習では第3章を読んでおいてください。</p> <p>②授業の復習（約120分） 毎回授業の冒頭でキーワードを提示しますので、各々の内容確認を入念に行ってください。 さらに、それらの相互関連性を考えることによってその回の授業全体の理解を深めてください。 参考文献の利用も推奨します。自ら進んで調べ理解度を高めましょう。</p>

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
<p>問いかけます。発言や挙手などにより積極的に授業に参加、意思表明してください。 代替授業（遠隔授業）期間中は課題の提出とフィードバックによりコミュニケーションを図りたいと思います。</p>

実務経験の有無及び活用
<p>実務経験なし</p>

備考